

ニューノーマル時代を見据えた将来の金融サービスに関する共同研究

「しあわせ」の再定義と定量的尺度作成のための 調査研究

～個人の価値実現をサポートする金融サービスのあり方を
哲学的見地から検討～

京都大学大学院 文学研究科哲学専修 教授

京都大学大学院 文学研究科哲学専修 特定准教授

株式会社お金のデザイン・お金のデザイン研究所 取締役副会長/ファウンダー

2022年12月

出口康夫

大西琢朗

廣瀬朋由

金融機関がなぜ「しあわせ」について考えるのか

「お金」について考えるのは気が重いのはなぜ？

お金は誰にとっても同じ普遍的な価値ではあるが...
ほかならぬわたしにとっての固有の価値に直結しない

わたし固有の価値としての
「しあわせ」

資産形成は消費をも視野に入れたロングタームのプロセス

将来何に使いたいか明確でなければ、運用の意味も薄れる
さまざまなライフイベントを考慮した長期的視点が必要

人生全体を統合的に捉える
「しあわせ」

気候変動や格差・差別など社会課題に対する意識の高まり

経済活動における公共的・倫理的価値の重視 (ESG投資など)
わたしを越える「われわれ」の「しあわせ」を希求する潮流

わたしとわれわれの
「しあわせ」

**「お金」は「お金」を超えるより包括的な価値とつながっている
狭義の経済価値を超える「しあわせ」像を提案し
「しあわせ」実現をサポートすることが金融機関の責務**



従来の金融機関の枠組みを越える「しあわせ」についての研究

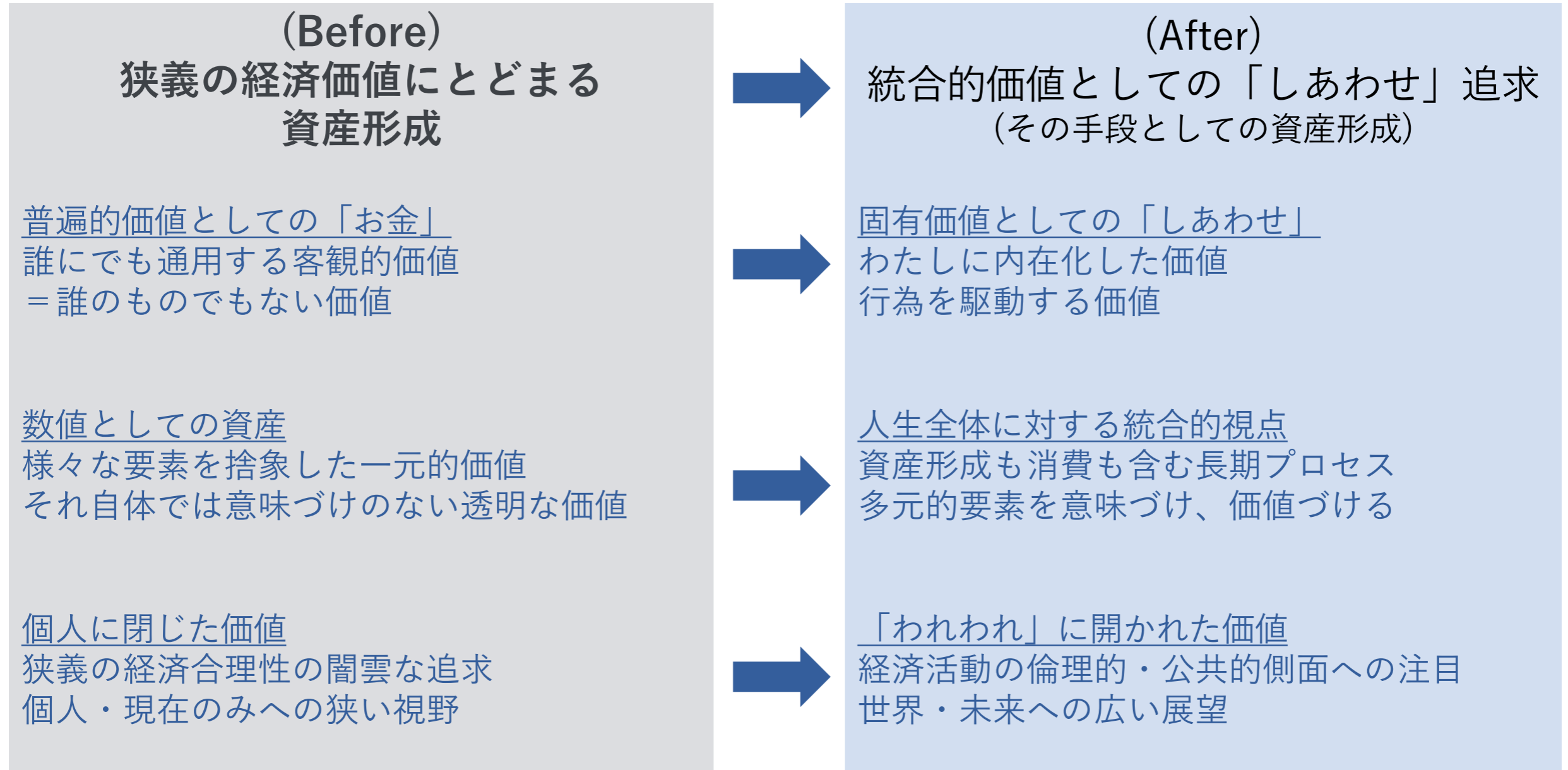
→京都大学哲学専修出口教授・大西特定准教授との共同研究
(「われわれとしての自己」の哲学を展開)

哲学（を含む人文学）との共同研究の意義

アリストテレス以来の「幸福論」の伝統をもつ**価値についての学問**
倫理的観点も含めた**多角的視点**からの価値観の検討
特定の価値観を称揚するのではなく、考えるための「**座標軸**」を提案

**金融機関と哲学のコラボレーションを通じて、
「お金のしあわせ」について考えるための新しい座標軸を提案**

本研究の提案する「しあわせ」へのシフト



従来の幸福・ウェルビーイング研究を踏まえた「しあわせ」像を明確化し
狭義の経済的価値から「しあわせ」へのシフトを顧客・社会に提案

「しあわせ」シフトを促すライフ・インテグレータ尺度

「しあわせ」へのシフトを促すには、個人が活用可能な尺度の開発が効果的

ライフ・インテグレータ尺度

- 8つの尺度項目を用いた**現状と理想の自己診断**を通じて
- 多元的で各人に固有の「しあわせ」像を**可視化**し、
- 「しあわせ」**実現のためのアクション**を導く

なぜ「しあわせ」を可視化する尺度が必要なのか

1. 「しあわせ」の多元性

経済的価値を超えた多元的要素からなる価値のマトリクス
複合的な思考が要求される

2. 固有価値としての「しあわせ」

お仕着せの価値観では「しあわせ」は感じられない
テイラーメイドの「しあわせ」像を構築する必要がある

3. 行為を駆動する「しあわせ」

「しあわせ」を実現するにはそこへと向かうベクトルが必要
現状と理想のギャップの認識が行為へのベクトルをもたらす

自分らしい「しあわせ」像を
自分自身で描き出し、行動する
「しあわせ」のプロセスを
サポートする尺度

可視化すべき「しあわせ」とは何か

従来の哲学・心理学などでの幸福・ウェルビーイング(WB)研究をサーベイし、
ライフ・インテグレート尺度が可視化すべき「しあわせ」とは何か、検討した

哲学

アリストテレス・ストア派以来の伝統が現代の幸福・WB研究にも影響
「快樂説」「客観リスト説」「欲求充足説」などの立場にもとづく厳密な議論

心理学・行動経済学

幸福・WBを経験的に計測する多様な尺度の開発(主観的・心理的・社会的 etc.)
国家・国際社会など集団に対する政策決定への活用

文化人類学

文化相対主義を前提とした幸福・WBの質的研究
西洋的価値観が主流の幸福・WB研究に対して、幸福・WBの多様性を示す

ライフ・インテグレート尺度につながる観察と課題

1. 幸福・WBは単一ではない**複数のファクターから構成されるクラスター概念**(もちろん「お金」だけではない！)
2. 近代西洋的価値観がいまだ主流だがより**多様性とバランス**が重視されるように
3. 従来研究は客観的、一般的な幸福・WB概念の明確化が目的であり、**個人個人に固有の「しあわせ」像およびその実現**とのあいだには乖離がある

尺度項目の構成と内容

8つの尺度項目 = 2種類の幸福観と4つのファクターの掛け合わせ

「わたし」型幸福
VS
「われわれ」型幸福



幸福の4つのファクター
リスク・充実感
人生観・社会統合

- 「わたし」型幸福観 (質問項目1,3,5,7) : 個人が**自律的で自足的な人格**として完成すること、そのような完成へと向かうことに価値をおく
- 「われわれ」型幸福観 (質問項目2,4,6,8) : 自分が**大切に思う事柄との関係**において自己の存在を考え、それとともに生きることに価値をおく

⇒ 「しあわせ」は2種類の幸福の緊張感を伴うバランスのなかで実現される

- **Secured-Living**(リスク) (質問項目1,2) : 幸福の阻害要因となるリスクへの対応
- **Well-Living**(充実感) (質問項目3,4) : 日々の生活のどのような部分に充実感を求めるか
- **Holistic-Living**(人生観) (質問項目5,6) : 人生全体を俯瞰的に眺めたときの捉え方
- **Social-Living**(社会統合) (質問項目7,8) : 自分の周囲の社会環境との付き合い方

⇒ 「わたし」「われわれ」バランスの理想と現状を人生の異なる局面で診断

ライフ・インテグレータ尺度項目

ライフ・インテグレータ尺度項目

幸福研究についてのサーベイに基づき、
「しあわせ」を構成すると考えられる8つの側面にかんする8つの質問を抽出

[Secured-Living : Risk/リスク]

1. [Self help/自助]

病気や災害などさまざまなリスクに対して、自分で貯蓄等の備えを整えている／整えておきたい

2. [Mutual help/共助]

病気や災害で収入を得ることができなくなるなど、自分が本当に困ったときに、自分が属している社会・共同体は自分を助けてくれると思う／助けてくれる社会・共同体であってほしい

[Well-Living : Quality of life/充実感]

3. [Striving/挑戦]

日常生活・仕事・その他の活動において、自分の可能性を限界まで追求している／追求したい

4. [Care/ケア]

休息や趣味、家事、家族・友人とのコミュニケーションなど、自分にとって大事な人・もの・ことに対して、十分な時間をとっている／十分な時間を取りたい

[Holistic-Living : View of life/人生観]

5. [Autonomy/自律性]

長期的な目標を設定し、それに向かって計画的にものごとを進めている／長期的な目標を設定し、それを実現するための人生設計をもっておきたい

6. [Adaptability/順応性]

これまでの人生では、思いがけない出会いや出来事によって想定外の展開が起こることが多かった／想定外の展開が起こることに期待している

[Social-Living : 社会統合]

7. [Recognition/承認]

自分が社会の中で認められていると感じる／感じていたい

8. [Weak ties/弱いつながり]

近所の住民や店員、仕事上の顔見知りなど、会えば挨拶をする程度の知り合いが多くいる／多く作っておきたい

※各質問に対し「よく当てはまる」から「当てはまらない」の5段階で評価

「わたし」と「われわれ」

2種類の「しあわせ」は2種類の自己観にもとづく



近代市民社会を構成する **自律的な個人**
すべての存在の基礎としての「**わたし**」

- ✓ 心身ともに健康、経済的に自立
- ✓ 明確な人生設計、能力の発揮、成長
- ✓ 自足的自己同士の関係が築く社会

⇒ 「**わたし**」型幸福



ケア関係のなかで成立する自己 = 「**われわれ**」
支配・制御ではなく **共存・相互作用**

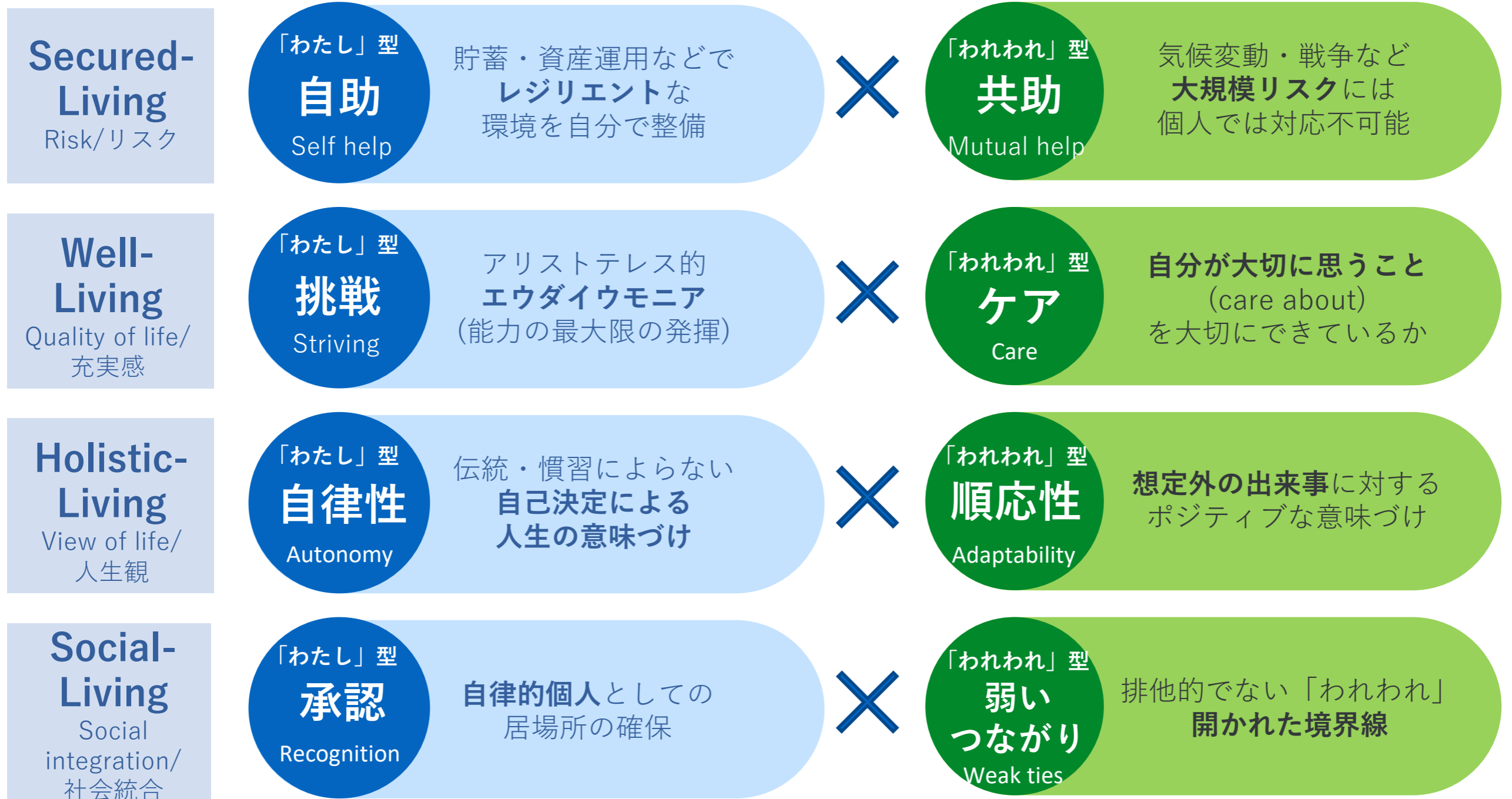
- ✓ ケア = 大切に思うこと
- ✓ 自他の脆弱性に対する柔軟性
- ✓ 相互作用を通じた自己変容、成長

⇒ 「**われわれ**」型幸福

「しあわせ」は2種類の幸福の緊張感を伴うバランスのなかで実現される

4つのファクター

「わたし」「われわれ」バランスを具体的に考えるための人生の4つの側面



ライフ・インテグレータ尺度

ライフ・インテグレータ尺度項目

[Secured-Living : Risk/リスク]

1. [Self help/自助]

病気や災害などさまざまなリスクに対して、自分で貯蓄等の備えを整えている／整えておきたい

2. [Mutual help/共助]

病気や災害で収入を得ることができなくなるなど、自分が本当に困ったときに、自分が属している社会・共同体は自分を助けたいと思う／助けてくれる社会・共同体であってほしい

[Well-Living : Quality of life/充実感]

3. [Striving/挑戦]

日常生活・仕事・その他の活動において、自分の可能性を限界まで追求している／追求したい

4. [Care/ケア]

休息や趣味、家事、家族・友人とのコミュニケーションなど、自分にとって大事な人・もの・ことに対して、十分な時間をとっている／十分な時間をとりたい

[Holistic-Living : View of life/人生観]

5. [Autonomy/自律性]

長期的な目標を設定し、それに向かって計画的にものごとを進めている／長期的な目標を設定し、それを実現するための人生設計をもっておきたい

6. [Adaptability/順応性]

これまでの人生では、思いがけない出会いや出来事によって想定外の展開が起こることが多かった／想定外の展開が起こることに期待している

[Social-Living : 社会統合]

7. [Recognition/承認]

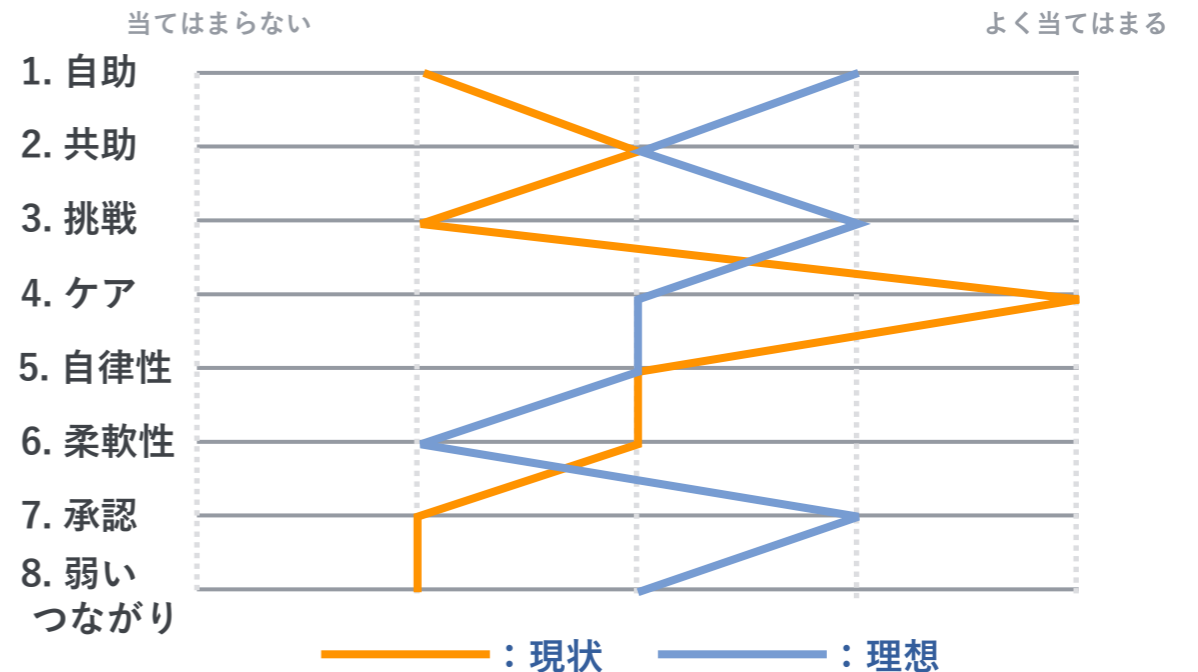
自分が社会の中で認められていると感じる／感じていたい

8. [Weak ties/弱いつながり]

近所の住民や店員、仕事上の顔見知りなど、会えば挨拶をする程度の知り合いが多くいる／多く作っておきたい

「よく当てはまる」から「当てはまらない」の5段階で評価

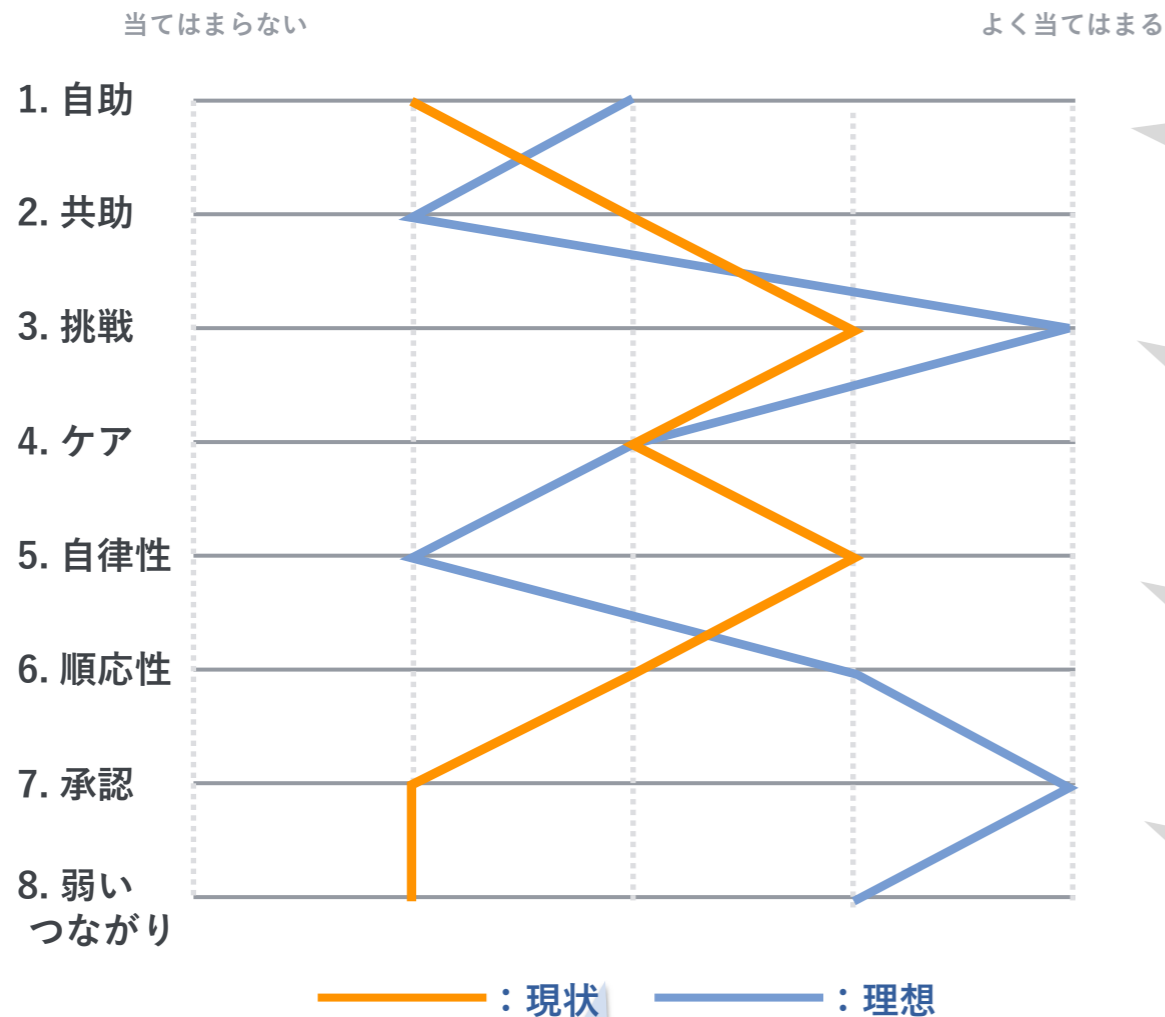
回答結果グラフ(例)



- リスク・充実感・人生設計・社会統合にかんする8つの尺度項目に対し、**現状認識と理想を評価 (5段階評価)**
- **理想に対する回答のマトリクス = 「しあわせ」像**
- **現状と理想の比較により診断**
 - ✓ 現状・理想ともに高得点：その項目について満足
 - ✓ 理想 > 現状：自分にとって重要項目だが不満
 - ✓ 理想 < 現状：自分にとっての重要度が低い
- 異なる時点での診断結果を比較することで、**価値観の経時変化と自身の活動成果をモニタリング**

ライフ・インテグレーター尺度の活用例(1)

想定例(1) 30才/男性/企業研究所勤務/バイオ関係で起業を考えている



リスクについて：あまり深刻には考えていないが、給料から天引きされる社会保障費は負担に思える。もう少し自己責任でもいいのではないかな。

充実感について：研究という仕事は自分に向いており、満足している。自分の能力が世界的にどれだけ通用するのか、試してみたい。

人生観について：おおむね大学卒業時点で思い描いていたキャリアパスどおりに進んでいる。起業で少し先行きは不透明になるがそれもまたたのしみ。

社会統合について：研究に没頭していて自分の社会的な位置づけについてはあまり考えていなかったが、これからは人脈を広げ、社会的地位を構築する必要がある。

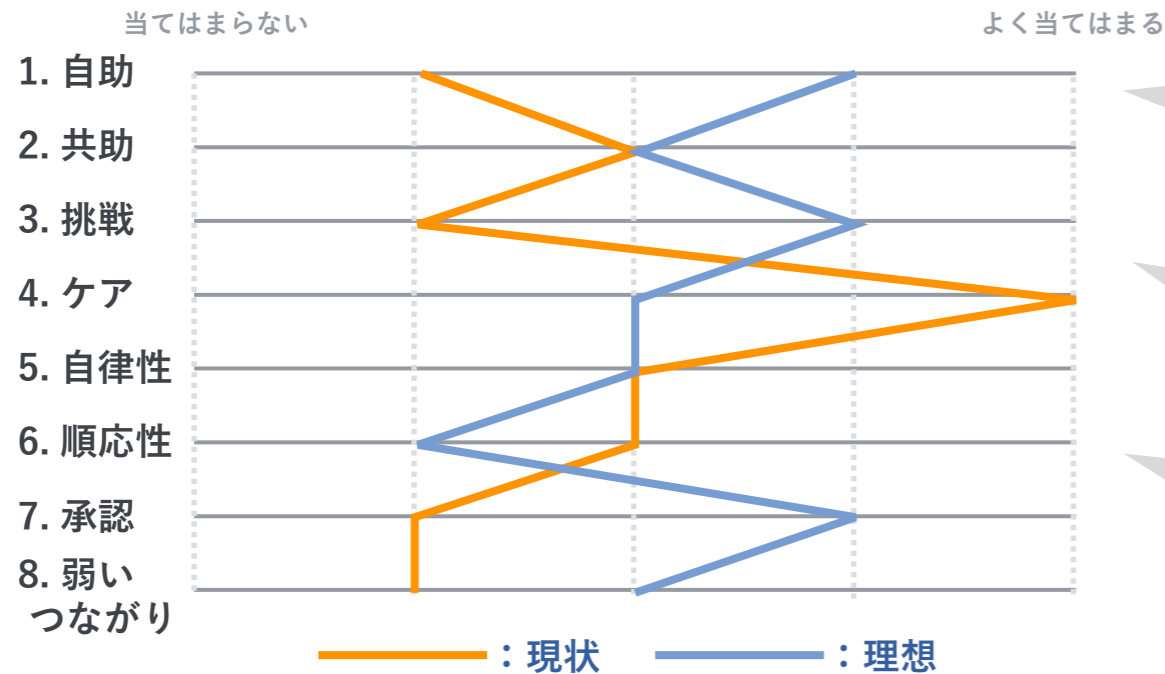
ポイント例：現状と理想の差が大きいのは社会統合

- 企業研究者としての能力とこれからの起業家としての能力との**ギャップ**の認識
- **注力すべきアクション**は(会社の製品企画より、例えば社会PRや人脈作りでは？)

➡ **現在の生活や人生全体をさまざまな角度から統合的に検討、現状と理想のギャップを認識し、次のアクションにつなげる**

ライフ・インテグレートタ尺度の活用例(2)

想定例(2) 32才/女性/夫と子2人との4人ぐらし/都内企業勤務

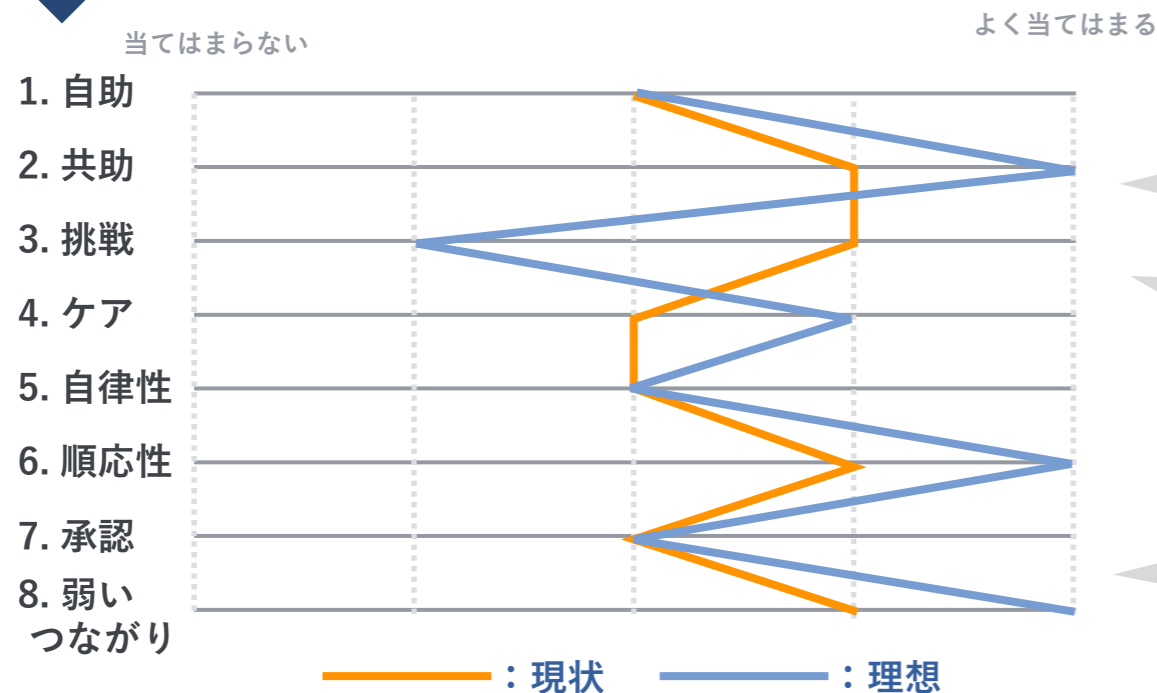


自助について：育児費用で家計に余裕はないけど将来を見据えた資産形成もそろそろ考えないと

充実感について：仕事にもっとやりがいがあるが育児との両立も大変、もう少し自分の時間がほしい気も

挑戦・承認について：家の中では家事育児も夫と平等で満足しているが、社会での女性の地位の低さは気になる

5年後、育児や仕事の状況、SNS上での交友関係にも変化があり…



共助について：親が病気で入院して日本の医療・介護制度の手厚さを知るが、しかし今後不安も

充実感について：責任ある立場で仕事できるようになってきたが、他人の評価よりも自分が満足できるかが大切

柔軟性・弱いつながりに関して：仕事でもSNS上でも思わぬ人との出会いが新しい可能性を開いてくれると実感

マトリクスの経時変化を通して 価値観の変化と活動成果をモニタリング

お金から「しあわせ」、そして「しあわせのためのお金」へ

お金

一元的・普遍的価値
単純明快だが
行為駆動力をもたない

しあ
わせ

多元的・一人称的価値
複雑だが明確化すれば
強い行為駆動力をもつ

「しあわせ」のための
資産形成へ

単なる技術論を超え積極的意義づけを伴う
健全な資産形成習慣

- 自分の直面する **リスク** を査定し対策する
- **偶然性** を許容しつつも **長期目標** を見失わない
- 長期目標のために **日々の豊かさ** を犠牲にしない
- 「わたし」 **固有の価値** と「われわれ」の **公共的価値** の双方を希求する

資産形成は「しあわせ」追求生活の一形態
深い思考と実行力を必要とするプロセスを
ライフ・インテグレータ尺度でサポート

お金から「しあわせ」、そして「しあわせのためのお金」へ

